



いつかの
別離まで

Until we part someday



お邪魔します

上着はそこへ
自分で掛けてくれ

はいはい

居間で少し待っている

茶を淹れてくる

ね、せんせ

家に入れてくれた
ってことはさ

今日はいいんだよね？



.....
ああ



凡人になって
まだ間もないというのに



俺はある一人の男と
身体を繋げる関係になっていた

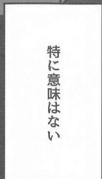
その行動に
お互いの心は必要ない



半ば流されるように
始まったこれには



特に意味はない



前から只者じゃないとは思っていたけどさ

ままと騙されたってわけだ
これでも先生のこと
結構信頼してたんだよ？

お互い最終的な
目的は果たせた

それにあの遊びも
俺の正体を知った上でなら
公子殿はさらに楽しめるのでは？

む？

あーいや、
こつちの話

…そんなつもりじゃ
ないんだけど

この後はまだ仕事か？

今夜予定がないなら
俺の家で手料理でも

今日は遠慮するよ

というか
もうああいうのって
イミないよね

今まで散々
付き合わせてごめんね

あ、いや……

往生堂との取引は
続けるから安心して

それに誰かさんのせいで
後処理が多いんだ
しばらく忙しくなるからさ

そういふので

じゃあね先生

結局

歪だが少し心地よいと
思っていた彼との関係は

彼によって始まり、
そして終わった

お品物は包みますか？

いや
そのまま買おう

ああ
仕事を立て込んで
いるようだな

あの事件で遠巻きに
されている彼を
気に掛けてくれるのか

あそこまで気前の良い
お客様は稀ですので…

大きな声では言えませんが
多くの商人は複雑でしょうね

そういえば

よく鍾離さんと
いらつしやった
スネージナヤのお客様、
最近お見えになりませんね

はあ
だろうな

一度間が空いてしまうと
次はどう誘えばいいのか…

少し、
考えてしまつて

ありますよね

会う必要は無い
だから合わない

それはもつともで

気ままに遊泳する空鯨
地を駆ける彗星

留まらない彼と
摩耗していく俺

遅かれ早かれ
別れが来る事は
わかつていた

「公子」殿の手を煩わせないよう
財布を忘れる頻度がぐつと減った

凡人らしく過ごそうと思えば
それなりにできた

それでも

「少し退屈だ」と思ってしまうのは最近隣にいた男のせいだろう

差し入れ？

うん

雲先生だからあまり高価すぎないのがいいと思ってるんだけど…

オイラやっぱ食べ物がいいと思うぞ

うーん体重気にしてほしくないからなあ

ならば茶菓子はどうだ？

茶菓子？

大きさもないし劇団の皆さんで分けやすいだろう

おおつ！
ナイスアイデアだな！

じゃあ
そうしよつか

ふふ
ここで偶然
会ったのも縁だ

今回は俺が
払ってやろう

さっすが〜！
財布持ってる鍾離は違っぜ！



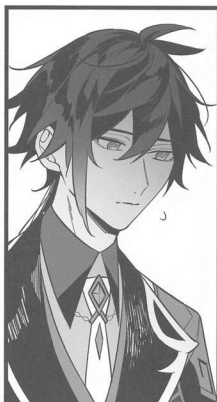
…

…

モラが
なかった

結局

こうなるのかよ！





…最近は持っていたんだぞ

知ってるよ

俺宛の請求書が
落ち着いてるし

でも高額請求を
とりあえずで
往生堂に回すの
やめてあげてね

……



もちろん
奢るよ

そろそろ先生と
行きたいと
思ってたんだ



それより
久しぶりに食事でも行かない？

やっと事務処理が
落ち着いてきたからさ



わかった

公子殿

こちら
米まんじゅうを
よけるな

よけてないって！
先生好きだろ？

そのエビと
交換しよう

む…仕方ないな

ここは
腌薦鮮も美味しいぞ

頼むか

払うの
俺だからね

いつも通り

友人の距離

これでいい

あ…
というか
前に食べた気がする

でも正直

先生が作ったやつのが
おいしかったなあ

友人の…

……なら



念のため
言っておくが

他意はないからな



また
食べに来るといい



もちろん今度は
一般的な友人として…

え、いいの？



ぜひ先生に
案内してほしいな



それに俺
任務ばかりだったから
璃月への観光もしたいんだよね



前に嫌な態度
取っちゃったから
会いつらくてさ

先生がいいなら
またこうして
会いたいんだけど…



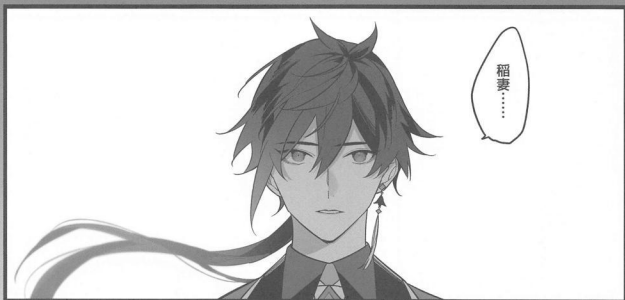
俺を案内人扱いか

好きでしょ
璃月ガイド









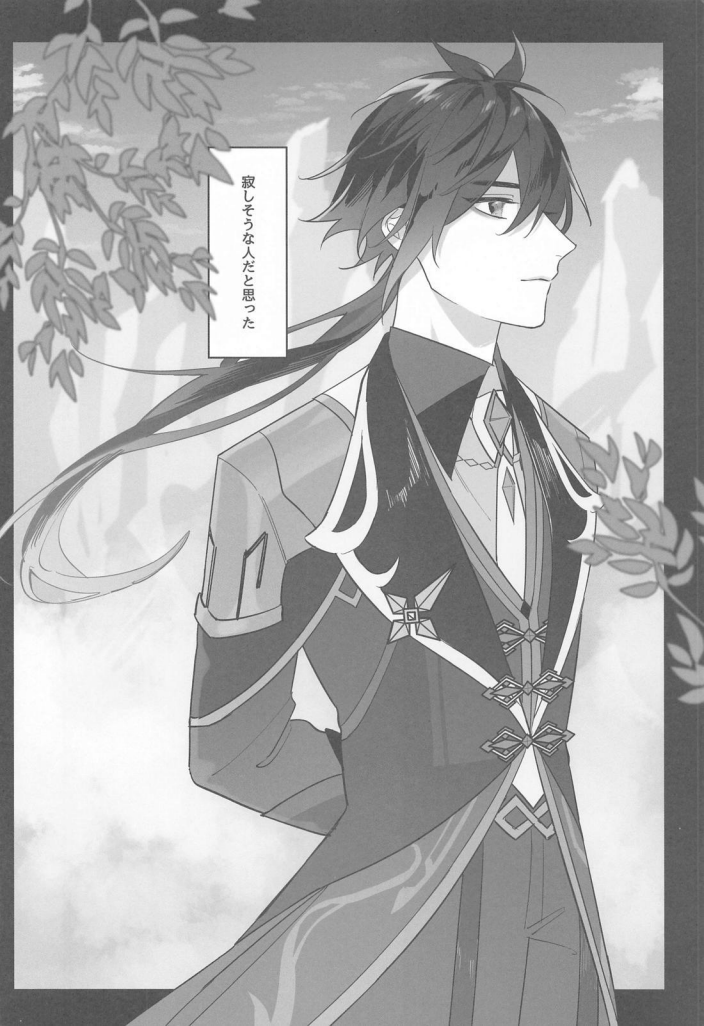
稲妻……

数日後
北国銀行の受付嬢より
公子殿が稲妻へ発ったと聞いた

以降、
公子殿からの連絡は
ぱたりと途絶えた



Figure 1. A hand holding a small, dark, oval-shaped object, likely a seed or fruit, against a dark background.



寂しそうな人だと思った



璃月を見つめながら
もつと遠くを見ているような
そんな目を覚えている

俺の事なんか
眼中にもないのが
なんだかつまらなかった



少し触れてみた
だけだった

それで終わりの
つもりだった



神様に片想いなんて
するつもりなかった



鍾離先生！

む



旅人
月^{ツキ}逐^{ツク}い祭^{マツリ}以来^{イライ}だな

最近は稲妻で色々あつてな
今日は依頼で璃月に来たんだ!

久しぶり

ほう

稲妻といえば
公子殿も任務で出張と聞いたな

そうそう!

オイラたち、
偶然公子に
あつたんだよ!

辛炎にもね
もちろん稲妻で

なんと

訳あつて
突然現れた秘境の
探索を辛炎と
してたんだけど

これまた偶然
公子が現れてね

特に悪さもしないし
秘境内は魔物が多いから
一緒に行動してたんだ

秘境も回りきって
いつも通り出たんだけど……

で、私とパイモン
辛炎は出てこれただけで





……きりては舞だ

公子殿が並の魔物相手に
手こずることもないだろう



旅人の言う通りだ



…公子殿



わかってはいるけど



わかっている



彼が料理上手なことは
知っているが
秘境ではまじな食事
も
できないだろう

体調は変わらないだろうか

瑞月に帰ってきたら
今度は俺が
食事会の場を用意してみよう

早く会って話したい
また、
帰ってくるかも
わからないけれど

もし

また会えたら



今度は
正しく
友人として

多くは望まない

ただ彼が
健やかであればと思う

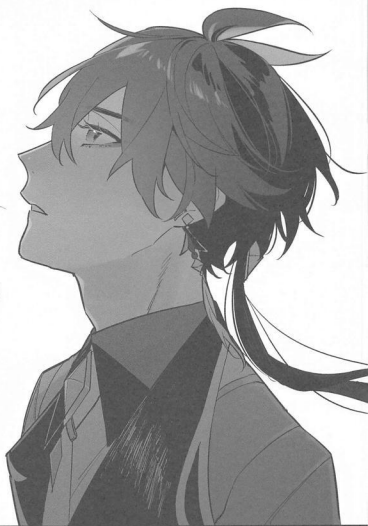


手紙がなくて気に掛かったり

また会えるかと不安になったり

そうだった感情をついこぼしたら
香屋の女主人は笑って言った

「鍾離さん、
恋してはるんやね」



息が白い

そういえば
そろそろ年末か…

気持ちはいまっておこう
それがお互いにとつての最適だ



はっこいは
どうせ実らないのだから



凡人になって初めての
誕生日は楽しかった



旅人や往生堂の面々
昔からの顔馴染み

あらゆるところで
声をかけられ
贈り物をもらった



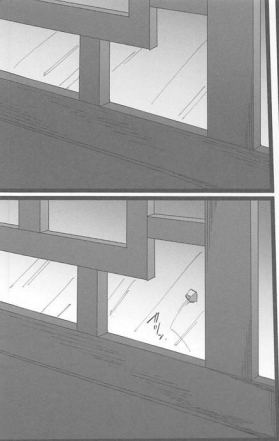
結局
手紙のひとつも
こなかったな



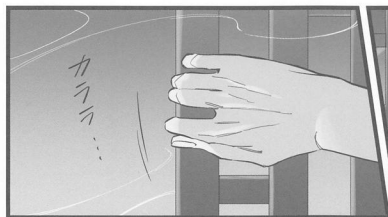
もしかしたら

もう

会えないのか



…
コ
ッ
ッ
…







無事で
よかった



なんとか
間に合った〜〜〜!

先生夜中はドア開けてくれないし
どうしようかと思ったよ



…音沙汰無しで
いよいよ死んだと思ったぞ



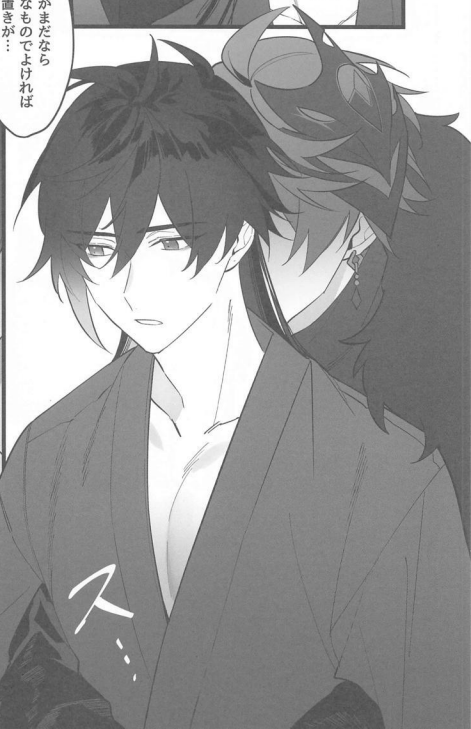
ごめんってば
勘ねないでよ

同僚の尻拭いに
追われてたんだ





食事がまだなら
簡単なものでよければ
作り置きが：



先生、
いい香りがするね

つ、湯浴みを
したばかりだから…

これ

俺があげた
露衰花の香油でしょ？

絶対先生に
合うと思うってたんだ

落ち着くなあ

公子殿

疲れているのなら
早く風呂へ…

おい！

うしろだ、
その……っ！

!!?



ゴメン無意識!

はは!



ええ?

ス...

うわ....

.....まさか
気づかずに...?



ほんとに今日は
そんなつもりないから
安心して

じゃ
お風呂借りる
よ



処理くらい

公子殿が、嫌でなければ...



つべ、別に



……
ちゅ.
ちゅ



あー…
先生

本当に
無理じゃなくていいんだよ？

無理はしていない

それに公子殿も前から
啞えてほしいと
言っていただろう

っ
そう、だけど

うっ

前は頼んでも
してくれなかったのに！





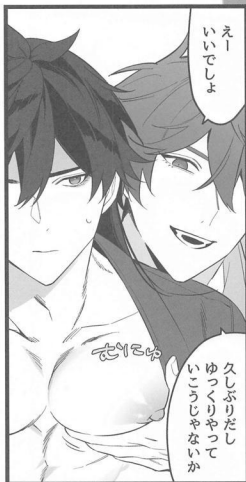
いいよ
もちろん一回じゃ
足りないよね？



先生が満足するまで
付き合うから

あ、

ね



えー
いいでしょ

久しぶりだし
ゆっくりやつて
いこうじゃないか

むにゅ



公子殿

胸をいじる必要は
ないと思うのだが



先生のここ
ぶっくりしてて
かわいいよね

ぐん



ふっ



っ

それに俺

先生の胸いじるの
好きなんだよね



先生さ、
感じやすく
なっていない？
最近抜いて
なかった？



その、
そこはいいから...



出したばかりなのに
こんなに大きくして

ちょ、こら！
押し付けるなっ！



っ、公子殿こそ！



本当に、いいのか

普通の友人は
こんなこと
しないはずだ



っ、公子殿こそ！



ホッ

え...

じゃあさ
先生は俺とするのイヤ?



フエラしいて
今更?

おっ、
俺は真面目に...



実際の事件の後は
一切しなかったし
...人間ではない俺を
相手にするのは
嫌だろう?



.....それは公子殿だろう

本当はもう俺と
こういうことは
したくないはずだ



は

俺は
嬉しかったよ

今日触るのを
許してくれて



先生は俺を騙すためだけに
あんな関係を
許してくれたのかとか

態度も何もかも
演技だったのかとか

…まあ、色々
考えたけど

俺にとって
先生が人間かどうかは
些細なことなんだよ





なぜ俺に触れたいのかは
あえて聞かないからな

聞いたところで
お前はきつと
言えやしないだろう



今だけは

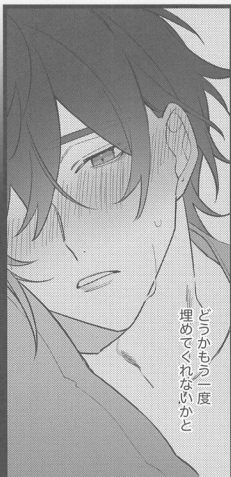
言わなくていいから

はやく

立場のこと
これからのこと

何も考えず
この意味のない行為に
一緒に溺れてしまえばいい







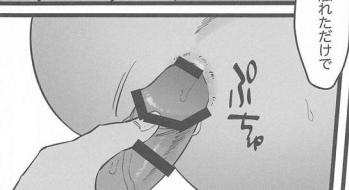
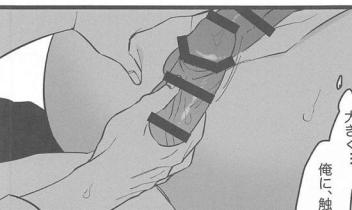
本正は
すっぴんを隠っていた



あ……
ああ……



入れるよ



あんなに
大きく……
俺に、触れただけで





とか言って
嬉しそうだね？

いつのまにそんな
やらしくなったのか、なあ！

っあ！
は、あ……っ！

一時的な関係なら
吹っ切れたしまった方が
いいだろう

っ



お前の人生の
一瞬として

少しでも良かった
思われたんだ

わかっていた

彼は何にも
縛られる人ではないと



彼が今後
どんな生を歩もうと

横で見つめ続けることは
できないと言っている



将来彼の隣にいるのは
俺ではない誰かだということも

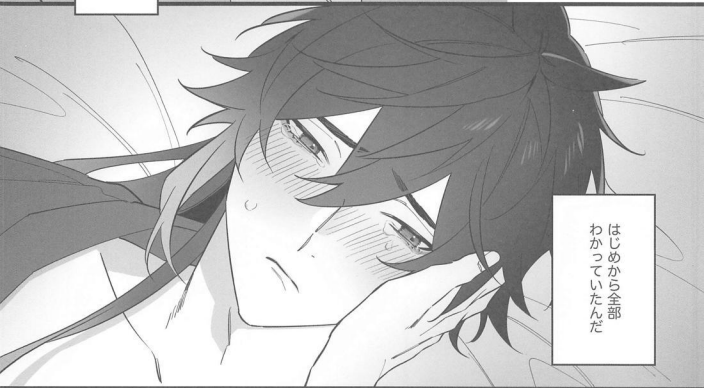


せんせ



それじゃ
先生だけが
恋してるみたいだ

ほんとつは



はじめから全部
わかっていただ



俺に触れてくる
その唇に



その手に



前からずっと



その目に
乗せられた気持ちを





あたたかで
深い海に
溺れるのが

こわかった



あごめん
起こしちゃったね

いや……

それは
霄灯か？

そ！稲妻にいた時
相棒に材料をもらったんだ

もうすぐだろ？海灯祭





でもこれは冗談抜きで
先生に叶えてほしいんだ



…旅人の教え方も気になるが
霄灯と言うのは伝統の上で

あゝ〜わかった！
授業はあとでね！



これに願いを書いて
飛ばしたら
神様が見て
くれるんですよ



稲妻の後処理で
スネージナヤへの
招集があつてさ

俺はまた
すぐにここを
離れないといけない

次はいつ璃月に来れるか…

先生に会えるか
わからない



それでも



先生と
できるかぎり

たくさん一緒に
いられますように



あと
先生が俺のこと
好きになって
あわよくば
付き合えますように！



……では公平に

俺の願いも
聞いてもらおうか

今から朝食を
一緒に作ろう

どうかな
叶えてくれそう？

食べ終わったら
鳥の散歩に
付き合ってくれ

あと買物も

年明けの祭りにも
行ってみたい

それから



A grayscale illustration of a traditional Japanese town, possibly a festival scene. In the upper left, a large, square lantern with a grid pattern on its face floats in the air, with a small flame or light source visible inside. The town below is filled with traditional buildings, including a prominent structure with a curved roof and a smaller building with a thatched roof. The scene is rendered in a soft, hazy style, suggesting a misty or rainy day. A speech bubble is located in the upper right, and two text boxes are in the lower left.

俺も！

いつかお前が
離れていくまで

帰りを待つことを
許してくれ

If you want to read the English version,
please contact me by DM on Twitter or by email.
I will send you the PDF download URL.
Thank you.

**英語版を読みたい方は私のTwitterのDM、
もしくはメールにご連絡ください。
PDFのダウンロードURLを送ります。**

Twitter: @san_jiga
Mail: hiiragi_eshi@yahoo.co.jp

「いつかの別離まで」
発行日:2022/12/11
発行者:さんさいじ(@san_jiga)
サークル名:十六番街
連絡先:hiiragi_eshi@yahoo.co.jp
印刷:スターブックス様



2022 12 11

Childex×Zhongli

For Adult Only

Genshin Impact

un official fanbook

There are no goodbyes for us.
Wherever you are, you will always be in my heart.